

連合町内会活動報告

新年のあいさつ

深町連合町内会
会長 力石 秀喜



新年明けましておめでとございます。
町民の皆様には、新春をお迎
えの事と謹んでお喜び申し上げ
ます。

昨年、町内会の活動・運営
に格別のご理解と温かいご指導
を頂き大変有難く、役員一同心
より厚くお礼申し上げます。

さて昨年をふりかえりますと
八月の台風による中組千川神社
拝殿の損傷が有り町民の皆様は
大変なご心配をお掛けしまし
た。これからもなんらかの災害
が三原市内で有ると思われま
す。今一度防災の講習、講演を受
け町民お互いに関心を抱くこと
が必要だと感じました。

さて町内においては、各種団
体共に変な中ご協力と活動し
て頂き大変感謝しています。
相互協力で益々の活動をいた
だきます様、よろしく願いま
す。

新春にあたり今後共町内の皆
様のご協力、ご理解をお願い申
し上げます。
本年が皆様にとりましていい
年で在ります様、御祈念申し上
げ年頭のご挨拶とさせて頂きま
す。

歩く会にご参加を

歩く会幹事 石井 堂照
尾道市向島町 兼吉周辺



月日 一月二十三日(火)
予備日 一月二十五日(木)

行程
九時 〇〇分 深町上組公民館(車)
十時 〇〇分 向島町兼吉周辺探訪
十一時三〇分 探訪終了 昼食
十三時三〇分 深町上組公民館(車)

深小だより

心ふるえた
ジョイントコンサート

三原市立深小学校
校長 松島 恵子

校長室のシャコバサボ
テンが薄ピンク色の可憐
な花を次々に咲かせはじ
めた十二月七日(木)、如水館
中・高校吹奏楽部を深小にお招
きしてのジョイントコンサートを
行いました。

深小学校では、これまでにも
如水館吹奏楽部をお招きしての
コンサートを隔年で行ってきて
いたのですが、今年例年とは
コンサートのコンサートに
という形でのコンサートに
いとお願ひしたところ、快くお
引き受け下さり、実現いたしま
した。当日は五十名を超える吹
奏楽部の方が来てくださり、本
校児童・教職員、三十名近くも
の保護者や地域の方とコンサ
トを楽しみました。県吹奏楽コ
ンクールで金賞に輝いた美しい
音色、大迫力の演奏、子どもた
ちをわくわくさせるすてきな演
出に感動、また感動のひとつ
ですが、部員みなさんの礼儀
正しさ、美しい所作、ときばき
と引き締まった動きにも目を奪
われました。

コンサートを終盤で、学習祭
表会でも披露した「大切なもの」
を吹奏楽部のみなさんといっし
よに合唱したり、吹奏楽部の生
演奏で「やってみよう」をのり
のりで歌ったりと、最高の気分
で味わうことができました。

子どもたちのお礼の手紙から
如水館吹奏楽部のみなさん、
すてきなコンサートをありが
とうございました！

(二年) じよ水かんの人が大すきです。
(三年) わたしもいつかあの楽きをつかってみたいです。これか
(四年) らもつと音楽のことを知りたいです。波の音
(五年) がアレンジされていておもしろかったからです。
(六年) わたしは、えんそうを聞いて、これまでよりもつと音楽
がすきになりました。たくさん聞きたいです。

(四年) えんそうするすがたがとでもきれいでした。ぼくも如水
館に行つて吹奏楽部に入りたいと思ひました。
(五年) ぼくの印しようにのこっている楽器はプラスチックで
ました。小さいけれど、曲の中で大きくきかせているなと思ひ
ました。

(五年) 「大切なもの」でいっしよに歌つてくださって、みんなの
心が一つになつたと思ひます。
(六年) 感動しました。特にさびのところがよかったです。

このコンサートが、子どもたちの生涯にわたり音楽を愛好する心を育
て、感性を高め、豊かな情操を養う一助になつたと思つております。

尚寿会だより

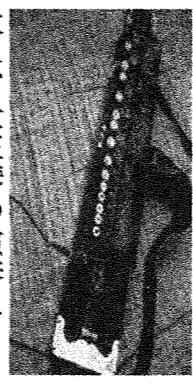
忘年会開催
尚寿会会長 原 勇吉

十二月十二日恒例の忘年会を
開催しました。

当日は、今冬一番の寒波が到
来し野や山は雪化粧となり寒か
つたが会場はストーブのお陰で
暖かく、楽しく開催する事が出
来ました。

最初に出前講座
三原市保健福祉課健康増進係
国次係長殿による
高齢者の健康づくりについて

今までの講座内容では物足り
なくて、特別メニューを組んで
貰い笑いが絶えない雰囲気、
時間の経つのが判らず一時間半
があつと言う間に過ぎました。
講師の顔の表情、動作等、原稿
なしの講義でした。内容として
脳の活性化方法、身体の筋肉の鍛
え方、認知症の予防方法につい



次に、大正琴の演奏により、
学校唱歌及び演歌合唱。メドレ
ー十二曲。
小柴さんグループ琴三会の皆さ
ん四人、会場は和やかな雰囲気
となり楽しく過す事が出来まし
た。

その後、歓談しながら会食。
アルコールが程良く回つた所で
ビンゴゲーム、今回は今まで以
上に良い景品を選んだのですが
満足されたかどうか？、スリル
を楽しんで貰つた事と思ひます。
終了後次回を楽しみに閉会。

参加して頂きました皆さん寒
い中参加下さいまして有難う御
座いました。

謹んでお悔やみ申し上げます

山根 和行 様 六十六歳
中組 西野講 十二月二十四日

深町各種団体一月行事予定

- ◆連合町内会
- ▼ビーチバレーボール大会 二二日
- ◆下組町内会
- ▼総仏法要(一〇〇〇〇) 七日
- ◆消防団
- ▼出初式 七日
- ◆小学校
- ▼登校指導 始業式 学区児童会
委員会活動 下校指導 九日
- ▼市内標準学力調査 一〇日
- ▼放課後子ども教室 一二日
- ▼PTA役員会 一五日
- ▼クラブ活動 一七日
- ▼持久走大会 一七日
- ▼ふれあい広場準備 二六・二七日
- ▼ふれあい広場 二八日
- ◆如水館中学・高校
- ▼入学式 五日
- ▼センター試験 一三・一四日
- ▼高校入試 一五日

消防団からのお知らせ

「平成三十年 三原市消防団出初式」
三原市消防団 深町分団
分団長 小川 和彦

明けましておめでとございます。
町内の皆様にはお健やかに新春を
お迎えのことと存じます。本年も
消防団活動にご理解とご支援をお
願ひ申し上げます。

さて、見出しのことにつきまして
ご案内を申し上げます。
「平成三十年三原市消防団出初式」
日時 平成三十年一月七日(日)
九時〇〇分より
場所 三原市官浦一丁目
三原市消防本部敷地内
内容 式典・消防団規律訓練演技・
消防ポンプ操作展示等が行
われます。

尚、雨天の場合は、三原市中央公民
館にて式典のみが行われます。
今年も消防団一丸となつて訓練、
行事活動に取り組んでまいります。
何卒宜しくお願い申し上げます。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで
守りましょう。



深小の子供は
午後四時過ぎに下校します。
※日によって、異なることが
あります。

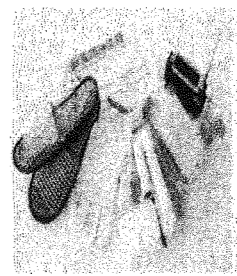
○近くは、遠くは、みんなで見守りましょう。

○あいさつ
声かけをしましょう。

第二中学校だより

防災キャンプに参加して

一年 半田 柚月



今日は、防災キャンプに参加して、たくさんのお話を学びました。一つ目は、ルールを守ることです。つねに避難所は、みんな協力していかねばいけません。なでなでルールを守りみんな生きぬかなければならない、だから大切だと思いました。二つ目は、やさしさです。なぜかというやさしさがなければ避難所では、やっていけません。なので、やさしく人にせつして、親切にすることが大切だと思いました。

防災キャンプに参加して

一年 安棟 美沙貴



私は、防災キャンプに参加して、たくさんのお話を学びました。まず一つ目は食への感謝です。夜は乾パンと水、朝はおにぎりとお茶、昼は炊き出しと、とても少ない食事で過ごしました。特に晩ごはんはとっても少なくて寝る時も、お腹がすきました。だから私たちが、いつもお腹いっぱい食べられることに感謝しないと、いけないと思いました。二つ目は、ひなん所や体育館での生活です。寝るときは床で寝るのがとても痛かったです。なので、あまり寝ることができませんでした。そして、洗顔や歯みがきなどもトイレの水と歯みがき水も苦しかったです。でも泊まっていた人の中には分らない辛さが味わえたと思います。貴重な体験だったと思います。

そして三つ目は、色々な人と交流ができた協力があったこととです。みんなでゲームをしたり、グループワークをして、他クラスの人や先輩たちとも交流ができたのがよかったです。そして、寝る時には、先輩と、先輩と先輩と話をすることが、とてもうれしかったです。優しくしてくれて嬉しかったです。私は、この防災キャンプでた

くさんのことを学びました。そして参加してよかったなと思いました。来年も参加して防災について、もっと知っていききたいです。

「栖本郡代 石原太郎左衛門之事」の連載について

上組 紙谷 謹二

医王山田屋城主石原太郎左衛門の子孫と言われる金子俊明さん(埼玉原春日部市在住)から、標記「栖本郡代 石原太郎左衛門之事」の史書を頂きました。つきましては、これを本紙に連載させて頂きます。金子俊明さんは歌手石原詢子さんのファンで、たまたまインターネットで石原詢子さんの検索していたところ、金子さんの先祖石原太郎左衛門が本紙に載っていることを発見し、びっくりされたそうです。

「栖本郡代 石原太郎左衛門之事」は、金子俊明さんの本家(熊本県天草市)の金子義則さん(故人)と天草市立本渡歴史民俗資料館長・鶴田耕治さんが資料を集め、鶴田さんが執筆されたものを義則さんの妻みち子さんが平成二十七年四月に発行されたものです。※明治五年頃、諸般の事情により石原家は石原姓から金子姓となった。石原太郎左衛門については、先に寺沢光世さんから頂いた史料に基づき本紙に掲載しております。読み頂ければ有り難く思います。

「栖本郡代 石原太郎左衛門之事」

(一)資料でみる郡代石原太郎左衛門

石原太郎左衛門は、唐津藩主寺沢広高の家臣である。寺沢氏は、慶長六年(一六〇一)関ヶ原の戦いの功績により、天草を加増された十六万石余の大名である。これにより天草は「飛地」として寺沢氏の支配下に置かれる事になった。寺沢氏は、天草に番代(富岡城代)と郡代を三ヶ所に配置した。それは、河内浦と本戸、それと栖本である。番代は富岡城に居て、「天草島原の乱」の時の番代は七代目と言われる三宅藤兵衛である。郡代は「地侍」と言われているので、異動の無い世襲的なものであったと思われる。ただ石原太郎左衛門が、いつから郡代に任用されたのか確証はないが、「寺沢藩士による天草一揆書上」によれば、「寛永六年以降に赴任。禄高一五〇石」とある。石原太郎左衛門の名を知らしめたのは、「四郎乱物語」に登場する事が第一であろう。その外にも、「島原記」や名古屋市蓬左文庫蔵「天草陣雑記」等に記述があり、また古文書では、永青文庫蔵「肥後細川藩 御家中文通の内披書」・「新撰御家譜」を始め、「島原日記(東京大学総合図書館)」や熊本県立図書館蔵「綿考輯録」や内閣文書蔵「天草一揆書上帳」など数多くにみられる。

○番代 三宅藤兵衛
○河内浦郡代 中嶋与左衛門

サンライズ大池だより

新年のご挨拶

施設長 河野 芳満

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

深町の皆様と共に、当施設も新しい年を迎える事ができました。温かいご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。さて、二〇一八年度は(六年に一度の)診療報酬と介護報酬の同時改訂が行われます。団塊の世代が全て七十五歳以上の高齢者となる二〇二五年に向けた道筋を示す、医療・介護両制度にとつて重要な節目の年となります。当施設につきましても、時代の変化に対応しながらも、介護の基本を大切にしたいサービスの充実に取り組んでまいります。

また、昨春から着工しております大規模改修工事につきましても、ご利用者の安全確保等に努め工事をすすめておりますが、振動・音等の影響を考慮し工事時間等の制限をする関係上、当初の計画工期(二〇一七年十二月二十日完了予定)を延長し、二〇一八年二月二十八日完了予定に変更させていただきます。多岐にわたりますが、大変ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

これからも、地域の皆様に愛される施設となります様、職員一丸となり取り組んでまいりますので、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、健康で素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

深町の植物

力石 卓夫(三原市宗郷)



《ヤマコウバシ》

枝を折ったり、葉をちぎったりすると良い香りがするので「香し(こうばし)」で、山地に生育するという意味で「山」となつたようです。

因みに広島市の植物公園では、「枯れても落ちない葉っぱ」と言う事で、受験生の合格祈願のお守りとして販売している。※一月二十三日撮影

TBG協会だより

第六回公認コース認定記念

全国招待TBG大会

第六回公認コース認定記念TBG大会が十一月二十六日(日)世羅町・小谷コースにて行われました。三原TBG協会からは、林洋祐・金子勝彦・石井張司の三名が参加しました。



成績は次の通りです。

総合七位 金子 勝彦

第一位 三崎 卓夫

第二位 林 洋祐

第三位 石井 張司

ベスグロ六十九 林 洋祐

ホールインワン 井上 幸子

二人組戦 石井 張司

一位 井上 幸子

次回大会は一月二十一日(日)に実施します。

※選手の敬称略

TBG事務局 天木 雅之

深小今昔ものがたり(三)

尾道市美ノ郷町 石井哲代

昭和二十六年、ミルク給食が始まりました。子供達の栄養不足を補い、体位向上の為に脱脂ミルクが配給されたのです。

校舎の東の裏で住宅に近い地点に宿直室とお湯沸し場と、倉庫の一棟がありました。朝日は早くから夕日はおそくまで入り込む明るい建物です。そこを改造して、大釜の設置、調理台の整理、配膳戸棚の設置と給食室が出来ました。

ミルクを沸かす人は、学校へ通っている家順に、四人ずつ当番で来ておられたと思います。水の分量、脱脂ミルク、砂糖の分量と手順を説明してお願ひします。十二時前になると、ガラ〜と教室の戸があきます。

アルマイトの入れものへ湯気の立つ、沸かしたてのミルク。

「味見して下さい。」

「ハイ、いいですね。」

今日もまた、明日もまた

「味見!! 味見!!」

「あの、分量通りなら合格ですから。」と幾度言ったでしょうか。

どれ位ミルク給食が続いたのかわかりません。憶えている方々と話してみたいです。あの当時、味見した一年生も、もう幾才とか、歳月は本当に矢の如しです。でも、懐かしいです。